


様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画 作成 報告書 （義務）

平成 26年 7月 30日

（あて先）
埼玉県知事

提出者 所在地 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105
株式会社 ハイデイ日高
代表取締役社長 高橋 均 
〔個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印）
電話番号 048-644-3231〕

平成 26 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化
対策推進条例 第 1 2 条 第 1 項 前段 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	飲食店	番 号	76
燃 料 等 使 用 量 (店 舗 面 積)	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量		6,095 kL/年 (大規模小売店舗の場合は、店舗面積 m ²)
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第		号該当
連 絡 先	所 属 部 署 職 ・ 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線
線で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省
告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



地球温暖化対策実施状況報告書

平成 26年 7月 30日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 所在地 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105

株式会社 ハイデイ日高

代表取締役社長 高橋 均



〔 個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印） 〕

電話番号 048-644-3231

平成 25 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	飲食店	番 号	76
燃料等使用量の 原油換算合計量	6,095		kℓ/年
温室効果ガス (CO ₂ 換算) 総排出量	10,402		t-CO ₂ /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第37条第2項に該当の有無		有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
連 絡 先	所 属 部 署	別紙のとおり	
	職 氏 名		
	電 話 番 号		
※ 受付年月日	年 月 日	※ 整理番号	
※備 考			

- 注
- 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
 - 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



平成 26 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 ハイデイ日高
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105
事業者番号	2061
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	6,095 k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)	m ²
産業分類名 (中分類)	飲食店
分類番号 (中分類)	76
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	中華料理店を、首都圏に約350店舗チェーン展開している。従業員は、約700名。資本金は、1,625,363,422円。
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	日高屋、来来軒

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
206100		6,095
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		6,095

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.hiday.co.jp/
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社
	所在地 1	さいたま市大宮区大門町3-105やすなビル2階
	閲覧可能時間 1	平日のみ 9:00~18:00
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 営業企画部 設計施工管理室	048-644-3231	048-640-6114	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

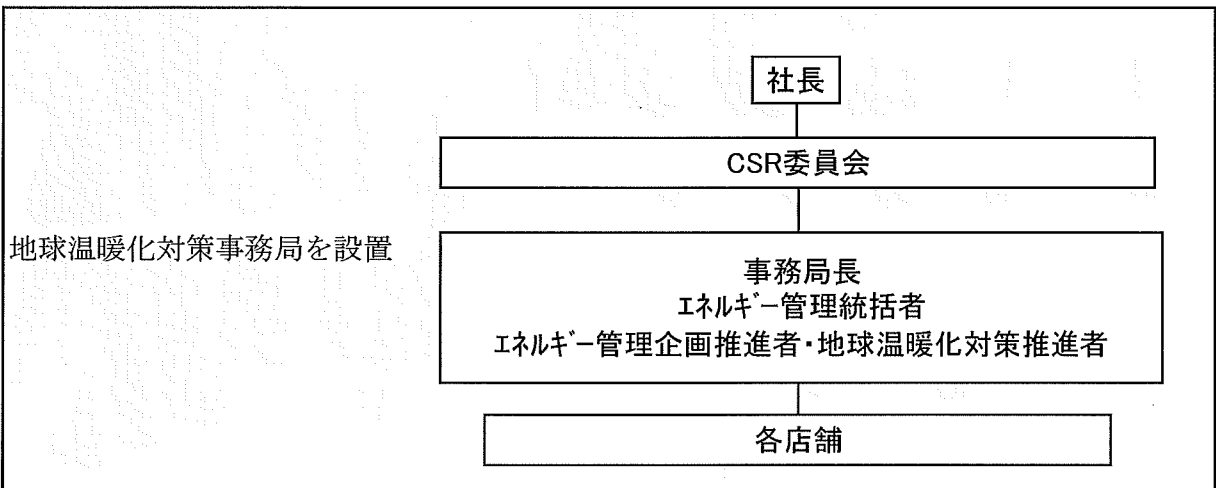
(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

地球環境の負荷を減らす店作りを推進し社会に貢献する

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	9,263	9,088	9,755	10,402	
その他ガス					
温室効果ガスの合計	9,263	9,088	9,755	10,402	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	営業企画部 設計施工管理室
	推進者職・氏名	室長 大野光晴
	電話番号	048-644-3231
推進者 連絡先 (複数選任して いる場合)	推進者所属部署	
	推進者職・氏名	
	電話番号	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	㈱ハイデイ日高
	担当者所在地	さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル2階
	担当者所属部署	営業企画部 設計施工管理室
	担当者職・氏名	室長 大野光晴
	電話番号	048-644-3231
	FAX番号	048-640-6114
	E-mailアドレス	oono@hiday.co.jp

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	連絡・送付先事業者名称	㈱ハイデイ日高
	所在地	さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル2階
	担当者所属部署	営業企画部 設計施工管理室
	担当者職・氏名	室長 大野光晴
	電話番号	048-644-3231
	FAX番号	048-640-6114
	E-mailアドレス	oono@hiday.co.jp

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	217	t	50.8	GJ/t	11,024	284	0.016	t-C/GJ	651	
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6	GJ/t			0.014	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.026	t-C/GJ		
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.029	t-C/GJ		
	コールターール			t	37.3	GJ/t			0.021	t-C/GJ		
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.027	t-C/GJ			
転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.038	t-C/GJ			
その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	1,812	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	81,540	2,104	0.014	t-C/GJ	4,066	
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
					GJ/				t-C/GJ			
					GJ/				t-C/GJ			
小計					92,564		2,388		4,717			
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0258	0.060	t-CO ₂ /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移した熱		GJ					0.057	t-CO ₂ /GJ			
	小計											
電気	般電気	昼間(8時~22時)		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh			
		夜間(22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh			
	その他の買電		13,053	千kWh	9.76	GJ/千kWh	127,397	0.0258	3,287	0.386	t-CO ₂ /千kWh	5,038
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電			千kWh					0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電			千kWh					-0.193	t-CO ₂ /千kWh		
小計					127,397		3,287		5,038			
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh						t-CO ₂ /千kWh			
	小計											
コージェネレーションシステムの利用												
合計					219,961	0.0258	5,675		9,755			

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	200	t	50.8	GJ/t	10,160	262	0.016	t-C/GJ	600	
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6	GJ/t			0.014	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.025	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.026	t-C/GJ		
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.029	t-C/GJ		
	コールタール			t	37.3	GJ/t			0.021	t-C/GJ		
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.027	t-C/GJ			
転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.038	t-C/GJ			
その他燃料	都市ガス ^(注)	13A:45MJ/m ³	1,856	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	83,520	2,155	0.014	t-C/GJ	4,165	
		13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
		6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.014	t-C/GJ		
小計												
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0258	0.060	t-CO ₂ /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移した		GJ					0.057	t-CO ₂ /GJ			
	小計											
電気	般電気	昼間(8時~22時)		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh			
		夜間(22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh			
	その他の買電		14,605	千kWh	9.76	GJ/千kWh	142,545	0.0258	3,678	0.386	t-CO ₂ /千kWh	5,638
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電			千kWh					0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電			千kWh					-0.193	t-CO ₂ /千kWh		
小計						142,545	0.0258	3,678		5,638		
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh						t-CO ₂ /千kWh			
	小計											
コージェネレーションシステムの利用												
合計					236,225	0.0258	6,095			10,402		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量	
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12		
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂	
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.019	t-C/GJ	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ	
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ	
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ	
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ	
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ	
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-C/GJ
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-C/GJ
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-C/GJ
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-C/GJ
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-C/GJ
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-C/GJ	
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-C/GJ	
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ	
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.027	t-C/GJ	
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.038	t-C/GJ	
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ		
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ		
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ		
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³	0.014	t-C/GJ		
小計									
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258	0.060	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移した		GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ	
	小計								
電気	般電気車	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	0.386	t-CO ₂ /千kWh	
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電		千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh				-0.193	t-CO ₂ /千kWh	
	小計								
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ				t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh				t-CO ₂ /千kWh		
	小計								
コージェネレーションシステムの利用									
合計					0.0258				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量	
		①		②	③=①×②	
		数値	単位		t-CO ₂	
非 エ ネ ル ギ ー 起 源 C O 2	廃棄物の焼却 及び 製品の製造の 用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）		t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維		t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ		t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類 （産業廃棄物に限る）		t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類		t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料 の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く） から製造される燃料油		kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油 （自ら製造するものを除く）		kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰		t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス 又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニア の製造	石炭（一般・輸入）		t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）		t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）		t	2.7 t-CO ₂ /t	
天然ガス （液化天然ガス（LNG）を除く）			千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス			千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス			千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウム カーバイド の製造	石灰の製造		t	0.76 t-CO ₂ /t		
	石灰の還元		t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
小計						
その他温室 効果ガス	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	二酸化窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	六フッ化イオウ		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
小計						
合計						

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）油から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
小計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄
	二酸化窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t-	
			t	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t-	
			t	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化イオウ			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量	
		①		②	③=①×②	
		数値	単位		t-CO ₂	
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)		t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維		t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ		t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタ以外製のプラスチック類(産業廃棄物に限る)		t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類		t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油		kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)		kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰		t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニアの製造	石炭(一般・輸入)		t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス(LPG)		t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス(LNG)		t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く)		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造		t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元		t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
小計						
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数		
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t-		
			t	t-CO ₂ /t-		
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t-		
			t	t-CO ₂ /t-		
	六ふっ化いおう		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
	小計					
	合計					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量	
		①		②	③=①×②	
		数値	単位		t-CO ₂	
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)		t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維		t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ		t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタイヤ以外の廃プラスチック類(産業廃棄物に限る)		t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類		t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油		kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)		kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造			t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰		t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造			t	1 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用			t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭(一般・輸入)		t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス(LPG)		t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス(LNG)		t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く)		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造			t	2.3 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造		t	0.76 t-CO ₂ /t	
生石灰の還元			t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造			t	0.028 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用			t	3.4 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造			t	0.005 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量			t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量			t	1 t-CO ₂ /t		
				t-CO ₂ /		
				t-CO ₂ /		
				t-CO ₂ /		
小計						
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン			t	t-CO ₂ /t-	
				t	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン			t	t-CO ₂ /t-	
				t	t-CO ₂ /t-	
	六ふっ化いおう			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計					
	合計					

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所
株式会社 ハイデイ日高

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	eモニターの設置	毎年 電気・ガスの使用量を常に把握し、見える化する。	
2	130200	空調和設備・換気設備	13_空調和設備の効率管理	空調設備の定期清掃・換気設備のインバーター制御	平成23年度～28年度 空調の効率を良くする。無駄な換気をガス使用量に応じてインバーター制御して減らす。	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	看板・照明器具の点灯時間管理	平成23年度～28年度 日中の、看板点灯を減らす。	
4	130200	空調和設備・換気設備	13_空調和設備の効率管理	省エネタイプ空調機の採用	随時 新店開設時	
5	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	省エネタイプ冷蔵庫の採用	随時 新店開設時	
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	一部照明へLED照明の導入	随時 新店開設時	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

株式会社 ハイデイ日高

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度														
燃料等使用量の原油換算量 (kL)									5,112	5,419	5,275	5,675	6,095	
エネルギー起源 CO ₂									8,720	9,263	9,088	9,755	10,402	
その他 ガス	非エネルギー起源 CO ₂													
	メタン													
	一酸化二窒素													
	ハイドロフルオロカーボン													
	パーフルオロカーボン													
	六ふっ化いおう													
合計									8,720	9,263	9,088	9,755	10,402	

(2) 温室効果ガス排出量原単位 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度										○					
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位										1.9896	1.9359	1.6721	1.6404	1.6401	
活動 規模 の 指標	○	生産量 (単位)	t/年												
	○	出荷額 (単位)	t/年												
	○	従業員数 (単位)	人												
	○	床面積 (単位)	m ²												
	●	営業時間・床面積	千h・千m ²							4382.73	4784.93	5435	5946.67	6342.22	

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

A事業所
株式会社 ハイデイ日高

自由記述欄

平成25年度の温室効果ガスの排出量は10,402t-CO₂で、前年24年度の9,755t-CO₂に対して約6.6%の増加となっています。

事業所の数は、平成24年度98店から 1店舗増加し、平成25年では99店となっています。

弊社は、首都圏に日高屋という業態のラーメン店を毎年30店舗新規出店する計画であり、総量では毎年増加していくこととなります。

よって、店舗の延床面積と営業時間を原単位の分母として、原単位の削減に努めています。

平成25年度の温室効果ガス排出量原単位は1.640t-CO₂/千h・千m²で、平成24年度1.640t-CO₂/千h・千m²とほぼ同等の値となっています。

新店では空調機と冷蔵庫に省エネ機器を採用して、一部の照明にはLEDを使用して省エネ店舗を建築しています。

既存店では、照明器具を高効率器具に入れ替え、空調・厨房器具も随時省エネ機器に更新しています。

今後も、全店で省エネ機器を採用して温室効果ガスの排出量が少ない店作りに努めていきます。